

2019年5月31日

各 位

会 社 名 東和フードサービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 岸野 誠人
 (コード：3329、東証 JASDAQ)
 問合せ先 常務執行役員管理本部部長 長谷川 研二
 (TEL 03-5843-7666)

**2019年4月期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上並びに
 剰余金の配当（期末配当）に関するお知らせ**

当社は、2019年4月期におきまして2018年5月31日に公表いたしました2019年4月期業績予想値と実績値との間に差異が生じました。加えて、本日開催の取締役会において、2019年4月30日を基準日とする剰余金の配当を行う事を決議いたしました。以上のことにつきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年4月期業績予想値と実績値との差異
 (2018年5月1日～2019年4月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,500	734	750	445	55 円 14 銭
今 回 実 績 (B)	11,305	487	542	279	34 円 60 銭
増 減 額 (B - A)	△195	△247	△208	△166	—
増 減 率 (%)	△1.7	△33.7	△27.7	△37.3	—
(ご 参 考) 前 期 実 績 (2 0 1 8 年 4 月 期)	11,082	664	691	423	52 円 47 銭

2. 差異の理由

営業利益および当期純利益において発表予想を下回る結果となりました。期の前半に受けた大型台風上陸をはじめとする悪天候の影響や鉄道の計画運休、ショッピングセンターの営業時間短縮等の外的要因による客数不足の影響、19期に出店した店舗の減価償却費や人件費の上昇等が影響し、営業利益に影響しております。当期純利益におきましては「固定資産の減損に係る会計基準」に則り、21期の退店が決定している店舗分の減損損失を含め95百万円の特別損失計上の影響し、当社予想の収益計上までは至りませんでした。前年は固定資産売却益63百万円があった事も前期実績との差異に影響しております。

3. 剰余金の配当（期末配当）

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のための内部留保を行いながら、株主に対する利益還元を行うことは経営上の重要課題と認識しており、経営基盤の強化と自己資本比率の向上を図りつつ、安定的な配当の継続を基本としております。この配当方針のもとに、期末配当金につきましては6円00銭とさせていただきます。

	決定額	直近の配当予想 2019年2月28日公表	（ご参考）前期実績 2018年4月期
基準日	2019年4月30日	同左	2018年4月30日
1株当たりの配当金	6円00銭	同左	6円00銭
配当金の総額	48百万円		48百万円
効力発生日	2019年7月5日		2018年7月5日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

※当社では、会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議でもって剰余金の配当等を行う事ができる旨を定款に定めております。

以 上